


**柚木沙弥郎と  
ラマチャンドランの仕事**  
 2024.4.20(土)-6.30(日)

かえるの平家ものがたり  
**斎藤隆夫の仕事**  
 2024.7.6(土)-9.1(日)

「なきむしせいとく」と  
 「じごくのそうべえ」  
**田島征彦の仕事**  
 2024.9.14(土)-11.24(日)



春の  
 むしむし探検隊  
 みどりのゆりかごのたねまきをしよう  
**めだかの学校の入学式**



田植えの日

歌春さんの落語を楽しもう  
**お田植え落語会**

自然の秘密をみつけよう  
**ゲッチョ先生と**  
**音楽会 平野公崇ほか**  
**「サクフォフォン**  
**カルテット ミラベル」**



夏版10才のひとり旅  
**茶**

**えほんの郷の収穫祭**  
**めだかもトンボも鈴虫も**  
**いっしょに音楽会**  
 2024.10.26(土)

**木城えほんの郷 2024**  
**めだかの学校のお米づくり**



この郷をめぐる  
 山々の上に  
 満天の星が輝いていて、  
 みどりのゆりかごの森に  
 つつまれる水のステージは、  
 この世でただひとつの  
 不思議な楽器に変身するだろう  
 秋の実りの音。風の音。  
 谷の水の音。虫の音。  
 今年のまれびとの  
 ミュージシャンは  
**「フレンチカリブ**  
**ビッグバンド テイボンシュ」**  
 自然の音と出会って、  
 この郷を駆けめぐる  
 収穫祭の不思議な、  
 ふしぎな 音楽会。

21世紀のいま、人間よりも弱い  
 自然の小さな生命に味方することが、  
 この青い星地球と人間に味方することになるのだ

2025.3.22(土)  
**お花見狂言会**

むかしむかし、さくらの  
 花は、冬の間山に帰っていた  
 田(せ)の神さまが、  
 春になると里に帰ってきて  
 田んぼの作業をはじめのように  
 合図を送ってくれる花だったので。  
 だから人々は花見をはじめ、  
 農作業のはじまりに田の神を讃え  
 お米の豊穰を祈って、  
 芸能を楽しむようになったのです。  
 えほんの郷の「お花見狂言会」の  
 夜は、お花見と狂言と農作業の  
 はじまりが一体に響き合う  
 「めだかの学校のお米づくり」の  
 はじまりの夜なのです。

風や小鳥やアリたちが種子を  
 まくように みどりのゆりかごの  
**たねまきをしよう**

くらやみ探検隊  
**くらやみと火のまつり**

冬版10才のひとり旅  
 君は冬の森の中の  
 枯れ葉のフトンに眠れるか

もちつきの日

秋の  
**むしむし探検隊**

秋のよめこい  
**稲刈りの日**



于大武、蔡泉、徐楽楽  
**中国の絵本作家の仕事**  
 2024.11.30(土)-2025.1.26(日)

「やなぎむら」だより  
**カズコ・G・ストーンの仕事**  
 2025.2.1(土) - 4.6(日)

